



通学路周辺に危険なところがないか確認し、地域安全MAP合作の
ために写真を撮る小学生ら。姫路市で



みんなで作る安全MAP

姫路で教室 児童47人が地域調査

どうしてこころが犯罪が発生しやすい危険な場所かを子どもたち
に知ってもらおう「地域安全MAP教室」(「だ
いじょうち」キャン
ペーン実行委、兵庫エフ
エム主催、東京海上日
動火災保険協賛)が8
日、姫路市立高岡西小
(姫路市上手野)であ
り、児童47人が学校周
辺の安全MAPを作っ
た。講師を務めた立正
大の小宮信夫教授(犯
罪学)は「犯罪者は犯
行の場所を選ぶ。危険



な場所を知り、近づかないように」と参加した高岡西小と高岡小の児童らに呼びかけ
た。
犯罪や災害はから
子どもたちや高齢者、
地域を守る街づくりを
目指すキャンペーンの
一環。「地域安全MA
P教室は小宮教授が
考案したもの。「(犯
罪者が)入りやすい」「
周囲から見えにくい」
場所を自ら探し出す
ことで、危険察知能力
を身につけることを
目的とする。
8日は東京海上日動
火災保険姫路支店や代
理店の社員らが先生役

として参加。東京海上
日動火災保険と包括連
携協定を結ぶ市の職員
も協力し、高岡西小近
くの道路や公園などを
調査。児童らは土木土
事現場の高の壁がある
道路などを「ここは危
険だな」と話し、合
写機を撮影し、コメン
トを書き加えて地図を
完成させた。
参加した4年の高原
友愛さん(右)は「身近
な場所に周囲から見
えにくかったり、外
から入りやすい、危険な
場所があると分かって
びっくりした」と話
した。小宮教授は「姫
路城は入りやすく、
奥に安全な場所だ。
それに比べ、生活
の場に危険性が潜んで
いることを知ってもら
いた」と話した。

田畑知之
紙面編集 豊野 章平